



2025年2月13日

各位

会社名 エンシュウ株式会社
代表者名 代表取締役社長
社長執行役員 鈴木 敦士
(コード: 6218 東証スタンダード)
問合せ先 経営管理本部
経営管理本部長 大野 裕哉
(TEL. 053-447-2111)

中期経営計画の見直しに向けたお知らせ

当社は、本日の取締役会において、現在進行中である2025年3月期を初年度とする5カ年の中期経営計画「Make a New Enshu」について、初年度の状況を踏まえ見直しすることを決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 見直しの理由

当社は2024年5月30日に中期経営計画「Make a New Enshu」を開示いたしましたが、部品加工事業における仕事量は想定通り拡大の見込みにある一方、工作機械事業においては、初年度の受注状況が想定以上に停滞しており、本計画の見直しが必要と判断いたしました。

2. 見直しの内容

(1) 経営の基本方針について

- ① 「売上高重視から利益額重視へ」不変ですが、より一層の徹底を図ります
- ② 「ROE5%の達成」を図ります

詳細につきましては、2025年5月に改めてお知らせする予定です。

(2) 工作機械事業について

工作機械事業においては、売上高重視から利益額重視への方針に基づき、採算の良い案件を選別して受注していることもあり足元の受注が大幅に落ち込んでおりますが、対応として仕事量減少に合わせた構造改革を既に進めております。具体的には、希望退職の実施に加え、売上が伸びている部品加工事業やSIer事業を担うエンシュウコネクティッドへの人員再配置などを行っており、今年度中に体制整備を完了する予定です。これにより工作機械事業として(4)項の売上規模でも利益が出る体制となります。

一方で、中長期的な売上拡大に向けた取り組みにつきましては、下記の5事業(以下①～⑤)への事業構造の変革を柱とした中期経営計画へと見直ししてまいります。(2024年11月14日に開示済)

- ① システム工作機械: 得意とするシステム工作機械は国内、北米(含むメキシコ)、インドに注力してまいります。
- ② 顧客共同での開発型機械製造: 既に実績を上げている医療分野など、自動車業界に限らず様々なお客様の専門的なニーズにお応えしてまいります。
- ③ レーザー加工システム事業: EV化に伴う部品の軽量化やCO2削減のニーズにお応えしてまいります。
- ④ SIer&IoT事業: SIer子会社であるエンシュウコネクティッドを中心として、自動化・省人化施策であるSIer&IoT事業を拡大してまいります。
- ⑤ 保守サービス事業: 主要顧客への対応をはじめとして、きめ細かな保守サービス事業を展開してまいります。

(3) 部品加工事業について

部品加工事業においては、仕事量の拡大がほぼ想定通りに見込まれております。

2025年3月期は、工作機械事業からの人員受け入れ等の影響から一時的に利益が落ち込む見通しですが、次期に向けて人員の適正化を実施しており、今後も①～③の取り組みを実施し利益改善を図ってまいります。

- ① 売上拡大：経営資源を投入し、計画通り仕事量の拡大を達成します
- ② 収益力の向上：生産性向上、品質向上のための活動を強化し、原価低減に取り組みます
- ③ 事業シナジー創出：工作機械、SIer&IoT との事業シナジーを発揮し、高効率なモノ創りを実現します

(4) 数値目標について

現時点での2029年3月期の数値目標は以下のように想定しておりますが、今後精査を重ね2025年5月に改めてお知らせする予定です。

現時点での中期経営計画 数値目標（連結）

	見直し前	見直し後（想定）	参考 2025年3月期（予想）
全社売上 （営業利益率）	380億円 （7.5%）	250億円以上 （4%以上）	219億円 （△1.6%）
部品加工事業売上 （営業利益率）	180億円 （7.8%）	170億円以上 （5%以上）	118億円 （2.5%）
工作機械事業売上 （営業利益率）	200億円 （7.0%）	80億円以上 （2%以上）	100億円 （△7.0%）
ROE	12%	5%以上	-

以上